

○中学校としての使命

①自立の支援

- ・自分で考え判断し行動する力
- ・困難にも我慢し頑張る力

②社会性の育成

- ・認め合い高め合う集団

☆特別支援教育の充実

○家庭・地域の願い

- ・あきらめないで、何事にも挑戦する
- ・他人を思い遣る優しい気持ちを持つ
- ・自信を持って自分の考えを表現する
- ・仲間と協力・協働できる
- ・家庭や地域を大切にしたい

○令和2年度 山梨県学校教育指導重点 <5つの指導重点項目>

①「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善及び評価に取り組み、新しい時代に必要な資質・能力の育成

②いじめを許さない集団づくりと不登校児童生徒が生じない環境づくり

③体力向上と食育・心身の健康の保持増進、安全指導を関連させながら望ましい生活習慣を形成

④グローバル社会の中で様々な人々と協働できる資質の育成

⑤特別支援教育の推進（専門性の向上に努め、多様な学びの場における教育の充実）

<主な取組>

①の関連:「主体的・対話的な深い学び」の実現に向けた授業改善、少人数や個に応じた指導の工夫、小中合同研究会の開催、家庭学習の習慣化、生徒が考えを記述する学習の実施、ICTの活用

②の関連:人権感覚の涵養、「SOS」の出し方に関する教育への取組、道徳教育推進運動の推進、教育相談や関係機関と連携した支援体制の充実、以降主幹での情報連携、いじめ・不登校に関する校内研修へに位置付け、情報モラル教育の推進、保護者と連携し組織的な不登校生徒への対応

③の関連:望ましい生活習慣の定着、健康体力づくり一校一実践運動、健康・食に関する指導の充実、学校安全計画及び危機管理マニュアルの改善、自分の身を守る能力を育む

④の関連:ふるさと山梨の活用、外国語教育の充実、5領域の授業の実施、各技能をバランスよく育成、CAN-DO リストを基にしたパフォーマンス評価の実施

○教育基本法、学校教育法等 関係法令

○中教審等 答申

○生徒指導提要 ○やまなしの教員育成指標

○山梨県教育振興基本計画(仮称)より

<基本理念>

学び続け 共に生き 未来を拓く やまなしの人づくり

<基本目標>

「生きる力」を育む質の高い教育の実現

○学習指導要領改訂の基本的方向性

「社会に開かれた教育課程」の実現

新しい時代に必要となる資質・能力の育成

①生きて働く知識・技能の習得

②思考力・判断力・表現力等の育成

③学びに向かう力・人間性等の涵養

「カリキュラム・マネジメント」の実現

☆教育の情報化

☆学校いじめ防止基本方針

☆学校安全の推進に関する計画

「主体的・対話的な深い学び」の実現

☆学習内容と方法の両方を重視、質的に高めて

○甲府の子どもの教育

目標 豊かな感性とたくましい行動力を持ち、互いのよさを認め合いながら、進んで自己の課題に取り組むことのできる、心身共に健康な児童生徒の育成を目指す。

☆甲府市重点目標:「思い遣る心」の育成、「生きる力」を育む教育の展開

・「甲府スタイル」による「主体的・対話的な深い学び」の実現を目指した授業づくり

○生徒の多面的な実態を把握

個の性格特性、学習特性

自己有能感、自己効力感の状況

発達の状態

障害による特性・環境要因等

各種調査の活用

いじめアンケート、QU調査から実態の把握と適切な対応

関係機関等と連携

生徒を取り巻く環境の把握

○H31学校評価・学校関係者評価より

<R2年度の努力点>

- ・家庭学習の工夫
- ・一人一人を大切にしたい個別の支援の工夫
- ・非認知能力の育成

○学校教育目標

「心豊かで かしくたくましい生徒の育成」

- ・思い遣る心を持つ生徒
- ・意欲的に学ぶ生徒
- ・心身ともに健康な生徒

☆重点目標:粘り強く頑張り、仲間と協働できる生徒

☆教育活動指針:「人生は 心で歩む 道である」

*人間関係形成力を育む・良い集団をつくるのが一人ひとりの成長につながる

○教師像

- ・学び続ける教師、学習指導力
- ・わかる、魅力ある授業を展開する力
- ・個及び集団の育成を図る力、統率力
- ・生徒理解の力、使命感、責任感
- ・熱意、感性など人間性豊かな教師
- ・きめ細かく丁寧な寄り添い(伴走)
- ・「たった一人にも全力を尽くす」

*大切にしたいこと

- ・集団の雰囲気、非認知能力の育成
- ・種をまき頑張りさせて育てる
- ・教師として子供の成長に責任を持つ

社会化

自立協働

持続可能で活力ある社会の実現

校内研究 主題「**学びの自立を目指して～深い学びにつながる生徒同士の対話を意識した授業の在り方**」(OPPAを活用した道徳の授業・評価、QUを活用した集団づくり)

【学習活動の充実】

- 個人差を考慮し、興味関心を大切にして個性(善さ)の伸長と基礎学力の定着
- ・休み時間や放課後、学習強化週間等を利用した個別の学習支援
- 実感を伴う学び+根拠ある自分の考え+学び合う場の工夫
- ・直接体験の重視、学習内容と実生活とのつながりを実感できる指導の工夫
- ・言語活動を充実し、各教科の目標と関連づけて思考力育成のための効果的な指導の工夫
- 学力向上の取組
- ・授業における見通しと振り返りの場面の徹底と板書とノート指導の連動、課題提示の工夫(甲府スタイル)による授業改善
- ・思考力や表現力の育成を狙った課題設定の工夫
- 小中連携の取組(小中合同研究の実施)
- ・CAN-DOリストを活用し、5領域の言語活動を着実に実施することによる外国語教育の充実
- 職員間の共通理解と家庭との共通理解
- ・主体的な学びに結びつく自主学習・家庭学習充実
- ・小中連携の取組(生活習慣づくり・・・No Telpiゲーム・スマホ Dayの実施)
- ・教育支援ボランティア(地域教員OBの先生方、大学生)による学習支援
- 特別な教育的支援が必要な生徒への支援
- ・放課後やテスト週間等の個別学習支援の実施
- ・事態把握に基づく教職員の共通理解と、個別の指導計画・教育支援計画に基づく学校体制での支援

【心の教育の充実】

- 自分を大切に、他者を思い遣る心を育む。
- SOSの出し方に関する教育
- 多様な価値観等を尊重できる人権感覚の涵養
- 道徳教育の充実
- 全教育活動全体を通じて社会性と豊かな心を育む
- 「道徳科」では、よりよく生きるための基盤となる道徳性を養うため、道徳的価値についての理解を基に、自己を見つめ、物事を広い視野から多面的・多角的に考え、人間としての生き方について考えを深める学習を実施(学習指導要領「道徳科の目標」)
- ①道徳的心情・感性や感情の動きが正常になる
- ②道徳的な判断力・判断の基になる考え方が深まる
- ③道徳的な実践意欲と態度:よいと判断したことを実行しようとする意欲が強くなる <やる気>
- *OPPAを活用した授業づくりと適切な評価
- 小中連携の取組(小中合同研究の実施)
- ・9年間を見通した連続性と一貫性のある指導
- ・小中学校が一体となり家庭や地域と連携した取組
- 教育相談の充実(丁寧な関わり)
- ・計画的な二者相談の実施・・・生徒の気持ちを思いやり、気持ちを受け止める
- ・保護者とのきめ細やかな連携
- ・養護教諭やSC、SSW等との共通理解・連携
- ・関係諸機関との適切な連携
- 郷土学習の推進

【生き方の支援】

- 発達段階や生活経験の異なる集団活動を望ましい集団活動に高め、自他との関わりを見直し、コミュニケーション能力を養うと共に、支え合い高め合うとする生き方・態度を育む
- 特別活動の充実
- 自己や他者の善さや可能性に気づかせ、集団や社会の一員として夢と志を持って主体的に取り組むことができる力を育む
- ・自分自身の善さや個性、他者の善さや個性を見いだす
- ・忍耐力を持って粘り強く取り組む
- ・他者を思いやり、他者に感謝し、他者に協力する
- ・正義や公正さを重んじて、自他の権利を尊重し、自分の義務を果たす
- ・我慢する力・頑張り力・折り合いをつける力 等の非認知能力の育成
- QUによる実態把握と適切な支援による集団づくり
- 挨拶活動の工夫・・・生徒会活動の取組、PTA活動との連動
- 合唱活動の工夫・・・「合唱タム」の効果的運用
- 生徒の健康と安全に配慮した部活動の実施
- ・・・部活動ガイドラインをふまえ、休業日の設定、活動計画の作成
- 体力の向上と健康教育の推進
- ・望ましい生活習慣の定着や一校一実践とおした体力の向上
- 健康や食に関する指導の充実
- 総合的な学習の時間(かしのき)の充実
- ・多様な考え方に触れる体験的な活動を通して、感性を豊かにする。
- ・学び方やものの考え方を広げ深める。
- ・自己の生き方を見つめ直しよりよい生き方を考える。
- 読書活動の推進
- 生徒の感性を豊かにする環境づくり(環境整備や掲示物、花作り等)

自己目標の明確化 → 短期目標の具体化(一か月) → 中期目標の具体化(一学期) → 長期目標の具体化(一年) 【目標達成に向けた支援】

【生徒指導の充実】

- 自己と社会を学び、社会的なリテラシーの育成を図る。
- ・自己効力感、自己指導能力の育成
- ・いじめ防止・早期発見・適切な対応(いじめ防止基本方針)
- ・いじめを許さない集団づくり、いじめ・不登校のない魅力ある学校づくりを目指した教員研修の実施
- ・不登校対策・・・職員間の情報共有と連携した指導
- 合理的配慮を踏まえた「個別的教育支援計画」及び「個別の指導計画」の作成と適切な指導
- 発達段階や特性に応じた適切な指導・必要な支援
- 非認知能力(がんばる力・我慢する・折り合いをつける力)等の育成
- 家庭・地域・専門機関との連携・協働による生徒指導の推進
- 情報モラル教育の推進
- 危機管理マニュアルの見直しと、自分で自分の身を守る能力を育む安全教育の推進

【夢を育む支援】

- 体系的・系統的なキャリア教育の充実
- 人間関係形成・社会形成能力・自己理解・自己管理能力・課題対応能力・キャリアプランニング能力
- 働く喜びと貴さを学び、将来への意欲と志を高める(職業体験、職業講話実施)
- 自己を見つめ自己を制御する力の育成
- <自己理解>
- 将来に夢を持ち、今を真剣に生きる姿の実現
- <自己実現>
- やまなしキャリア・パスポートの効果的活用
- 【地域との連携 外部講師の活用】
- ・「学校運営協議会」導入に向けた調査研究
- ・ネットモラル教育、防災教育、がん教育、救命救急法、薬

○学年学級経営計画及び個別支援計画の具体化と不断の改善

○知・徳・体の目標をしっかりと意識した学年経営・学級経営

<1年>・・・

<2年>・・・

<3年>・・・

<かしの学級A>・・・

<かしの学級B>・・・

<重点目標>

粘り強く頑張り、仲間と協働できる生